

3 校歌

三
大地に深く根ざし たくましく
青空高くめざし 枝ひろげ
友情 厚く 手と手を繋ぎ
はばたくよ 富岡小学校

二
文化の誉れ高き 支倉の
歴史の薫り継いで 育んで
たゆまぬ 努力 未来を拓く
学びゆく 富岡小学校

一
若葉に萌ゆる野山 釜房の
清らかなその流れ 基石川
あふれる 希望 輝く勇氣
あわれら 富岡小学校

校歌
作詞・作曲 齋藤 江美



● 校歌の歌詞には、次のような富岡小学校児童の姿を思い描きました。

一 釜房山、基石川、豊かな自然の中、一人ひとりが個性豊かに、のびのびと元気に活動する子供たち。

二 地域の歴史について学び、伝統を受け継ぎ、地域を愛し、地域に貢献できる大人となっていく、真摯に学び続ける子とのできる子供たち。

三 校木のけやきが大空に向かい枝を広げて立つように、共に手を取り共に立ち、未来に向かって羽ばたいていく子供たち。

4 校章



5 校木



〔けやき〕

大地にしっかり根をはった木々の緑の山と清らかな川の様子を背景に、富岡小を囲む大きなすずらん和三つの小さなすずらんを配置している。

大きなすずらんには、子供たちが未来に大きな花を咲かせてほしいという願いがあり、小さなすずらんには、「支倉」「基石」「支倉台」の3地区の子供たちが中心（富岡小）に向かって力を合わせるという意味がある。

当地区は、森林が豊かで、とくに「けやき」は基石地区の名木であったという。

富岡小学校の子供たちが、「けやき」のように大地に根をしっかりとおろし、限りない大空に向かって羽ばたくような人になってほしいという願いが込められている。

校庭の駐車場の所から、校木「けやき」は、子供たちの活躍をそっと見守っている。

